

令和4年6月3日
石岡善隣幼稚園
園長 今泉 早苗


梅雨の走り、太陽が覗くと日差しも強く、汗ばむ季節となりました☀


種まき 5/10


英語活動 5/12


国府公園で遊んできました 5/20



 ゴールデンウィークが終わり、幼稚園にまた賑わいが戻って来ました。ゴールデンウィーク明けの最初の共同作業は種蒔きでした。ひよこ組はポップコーン、はな組はオクラ、ほし組はキュウリ、ゆき組はミニトマトを1ポットに2～3粒ずつ蒔きました。子どもたちの表情は真剣そのものです。それから…20日が経ち、苗がスクスク伸びてきました。保護者の皆さんに、沢山の苗希望を頂きありがとうございます。まずは一番に大きくなったポップコーンからお配りしました。園庭に畑を作り、『ぜんりん畑』と名付けました。4種類の苗を育てて、夏になったら野菜を収穫して、旬の味をみんなで楽しみたいと思います。😊🥒

 英語活動・体育教室・花みちタイム・コーラスがスタートしました。今回は英語活動を紹介します。今年度から Ikeda teacher が、子どもたちの興味を引き出しながら、楽しく愉快地に英語を教えてください。グローバル化したこれからの時代、子どもたちにとって英語を話せることは必須です。まず日本語をしっかりと覚えてから…という声もありますが、やはり幼児期から英語に慣れ親しんでいること、興味を持つことが英語の上達にとって、とても大切なことです。遊びながら、楽しみながら脳に記憶させていくことこそ英語を覚える近道だと思います。

 日本では子どもたちを取り巻く環境が大きく変化してきています。昔の子どもたちは、地域で異年齢の子どもたちの集団の中で遊びながら成長しました。遊具や公園もなく、道端、あぜ道や河原や野山などで工夫して、相談して遊びを作り出して、夕暮れになっても帰るのを忘れて遊びました。その中で創造したり、工夫したり、失敗してもチャレンジする粘り強さ、友達と協力したり、助け合ったりする力を自然に育みます。かつて生活の中で身に付けることができていた非認知能力を得る機会が今の時代は減って来ています。だからこそ幼稚園が重要な役割を果たしていると思います。幼児期に発達するそのような非認知能力と認知能力をセットでバランスよく育てることがこれからの時代を生き抜く力となります。本園では、遊びを中心に、異年齢が一緒に過ごす縦わり教室、ワークや制作を取り入れた質の高い教育保育を行っています。先生たちが創意工夫して、みんなで話し合いながら子どもたちのために日々努力しています。お気づきの点がありましたら、お気軽にお声掛けください。保護者の皆さまと、どんな時も支え合って、より良い幼稚園を作っていきたいと思っています。

 6月18日(土)の運動会に向けて、今、子どもたちは一生懸命にお友達と力を合わせて練習に励んでいます。入園間もない はな組、ひよこ組もできる範囲で楽しく練習しています。可愛い子どもたちのお遊戯やかっこを楽しみにしててください。